

陳情第13号

現行の健康保険証を残すことを求める陳情書

(陳情趣旨)

政府は2023年6月に、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決成立させました。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。

また、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。

政府が推し進める健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化に対し、世論調査で反対が賛成を大きく上回っています。6月に実施された共同通信社の調査では、来年秋に予定通り保険証を廃止すべきだと答えた人が24・5%だったのに対し、「延期・撤回」を求めた人は計72・1%に上りました。「朝日」は賛成38%、反対56%、「毎日」は賛成31%、反対57%でした。

国民も、患者も、医療機関も望んでいないマイナンバーカードとの一本化はやめて、現行の健康保険証を残すことを求めます。

(陳情事項)

健康保険証とマイナンバーカードの一本化はただちにやめて、現行の健康保険証を残すよう求める意見書を、政府に提出してください。

令和5年8月18日

陳情者



流山市議会議長 坂巻 儀一 様